

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司後援会
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203
連絡先：046-204-5911（ファックスも同じ）

おぎはら健司の市政リポート

『座間市の財政状況について』

一昨日から続いた台風による悪天候は、皆さんの生活に悪影響を及ぼさなかったでしょうか？

座間市、特に相模が丘地域は大雨による雨水災害が多いと言われるそうですが、今回の点に限らず、お気付きの点やお困りの点等がありましたら、右上にあります連絡先までご遠慮なくご連絡下さい！

昨今の、いわゆる『ゲリラ豪雨』による災害は座間市に限らず、各地方自治体を悩ませています。

座間市では、一時間あたりの降水量を「50^{ミリ}」と想定して雨水排水等が設計されていますが、9月5日のゲリラ豪雨や今回の台風では、お隣の海老名市で一時間70^{ミリ}を超える雨が計測されており、今後は座間市に於いても対策が迫られそうです。

さて、平成25年第三回定例会も9月30日の会期末に向けて、委員会等で議案審議が継続して行われておりますが、今定例会の主な議案は、平成24年度の決算内容の承認となっております。

よく、「座間市って、赤字財政なんですよ？」とか「座間市は第二の夕張市（平成19年に事実上財政破綻し、現在は財政再建団体）と言われているらしいね。」などの声を耳にしますが、実際は3年続けて黒字収支となっており、市庁舎建設等で生じた市債の返済も平成26年度までには完済予定なのですが、ご存じない方もいらっしゃるかも知れませんので、今回は座間市の財政状況について、いくつかの指数を例に挙げながら紹介したいと思います。

自治体の財政状況を表す指数として良く用いられる『財政力指数』を平成23年度決算ベースで見ると0.896となります。この数値が1を超えると地方交付税不交付団体、すなわち「財政力が豊かな自治体」となりますが、平成23年度、47都道府県の中では東京都のみで、市町村でも全国で54団体しかなく、その内訳は発電所立地自治体や大企業の事業所や倉庫・研究所等が所在する自治体、観光地等所在自治体がほとんどとなっています。

座間市の0.896という数値は県内平均値の0.97と比較すると下回っていますが、全国の市町村平均値が0.51である事を考えれば、悲観的になる数値ではない事がご理解頂けると思います。（県内には、横浜や川崎といった大都市に加え、鎌倉や箱根といっ

た国際的な観光地、藤沢や寒川・愛川といった大企業所在地等、数値が高い自治体が多くあります）

さらに、自治体の財政の弾力性を表す『経常収支比率(簡単に説明すると、収入が見込める自由に使える金額の中で、必ずかかる経費が占める割合。80未満が適正とされます)』を見ると、平成23年度の座間市の数値は90.48%で、適正値を超えています。近隣市町村と比較すると大和市は92.26、相模原市は95.42、海老名市でも94.79と座間市より高い数値となっており、こちらを比較しても決して悲観的になる数値でない事をご理解頂けると幸いです。

もちろん、満足できる数値ではなく予断は許さなれない状況にありますので、市政運営は健全に行われているか、予算の執行に無駄はないのか、行革は進んでいるのか、市民の代表たる市議会議員として市民目線でチェックして参ります！

荻原と萩原、違い分かります？！

前半部分がお堅いネタでしたので、ここで少だけ、息抜きと「漢字のおさらい」を。



写真は、6年前のものですが、当時は参議院議員で経済産業大臣政務官を務めておられた「荻原健司氏」(左)と、当時経済産業大臣だった甘利明大臣の秘書時代の「萩原健司」、つまり私です(笑)。

秘書当時、甘利大臣から笑いながら「12階(政務官室のフロア)に行って、挨拶をして来い！」と言われ、喜んで伺った際の大切な一コマです^^

荻原健司さんは、キング・オブ・スキーとして、冬季五輪で二度の金メダル獲得や世界選手権前人未到の3連覇など(後に、萩原さん対策でルールが変えられるほどの実力者!)、泣く子も黙る有名人です。

漢字で書くと同じ「萩原健司」となりますが、ヨミガナは「おぎわら(金メダリスト)」と「おぎはら(私)」になります。ちなみに、お互いに「『はぎわら』って間違われるよなあ」という話題で盛り上がったのは、良い思い出話です。